

愛知県とソフトバンク株式会社及び MONET Technologies 株式会社との  
連携・協力に関する包括協定

愛知県（以下「甲」という。）とソフトバンク株式会社（以下「乙」という。）、MONET Technologies 株式会社（以下「丙」という。）は、相互が連携して、愛知県のまち・ひと・しごと創生を推進するため、以下のとおり連携・協力に関する包括協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、甲、乙及び丙が緊密に連携・協力し、情報通信技術（ICT）等を活用して、まち・ひと・しごと創生に資する取組を実施することにより、地域の活力を高め、さらなる愛知の発展を図ることを目的とする。

（連携事項）

第2条 甲、乙及び丙は、前条の目的を達成するため、法令に反しない範囲で、次の事項について、連携し協力するよう努めるものとする。

- (1) 産業振興に関する事
- (2) 交通・まちづくりに関する事
- (3) 観光振興に関する事
- (4) 健康福祉の増進に関する事
- (5) 教育、子育て支援、女性の活躍促進に関する事
- (6) 食・農林水産業の振興に関する事
- (7) その他、まち・ひと・しごと創生の推進に関する事

（秘密保持）

第3条 甲、乙及び丙は、連携事項の実施により知り得た相手方の非公表情報を、第三者に開示又は漏洩してはならない。ただし、事前に相手方の承諾を得た場合及び弁護士等の外部専門家、公的機関等に対して必要な範囲で開示する場合は、この限りではない。また、甲、乙及び丙は、第1条に規定する目的以外に相手方の非公表情報を使用してはならないものとする。ただし、次の各号の一に該当する情報は、非公表情報に含まれないものとする。

- (1) 相手方から提供を受けた時点で既に公知となっていた情報
- (2) 相手方から提供を受けた時点で既に保有していた情報、又は相手方から提供を受けた後にその情報を開示する正当な権限を有する第三者から入手した情報
- (3) 相手方から提供を受けた後、提供を受けた情報によらず独自に取得した情報
- (4) 法令により開示を求められた情報

2 甲、乙及び丙は、本協定終了後も、前項による秘密保持の義務を負うものとする。

（期間）

第4条 本協定の有効期間は締結日より1年間とする。ただし、本協定の有効期間が満了する1か月前までに、甲、乙又は丙が書面により特段の申出を行わないときは、有効期間が満了する日の翌日から1年間本協定は更新され、その後も同様とする。

（協定の変更および解除）

第5条 本協定の履行に関して特別の事情が生じた場合は、甲、乙及び丙が協議の上、本協定を変更し、または解除できるものとする。

（その他）

第6条 本協定に定めのない事項又は本協定に定める事項に関して疑義等が生じた場合は、甲、乙及び丙が協議の上定めるものとする。

本協定の締結を証するため、本書3通を作成し、甲乙丙それぞれ記名の上、各自その1通を保有するものとする。

2019年12月19日

甲 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
愛知県知事

大村秀章

乙 東京都港区東新橋一丁目9番1号  
ソフトバンク株式会社  
代表取締役副社長執行役員 兼 CTO

宮川潤一

丙 東京都港区東新橋一丁目9番1号  
MONET Technologies 株式会社  
代表取締役副社長 兼 COO

峰元裕彰